

名誉会員 Erik Essen-Möller 教授を悼む

井上 英二

本学会の名誉会員、Sweden の Erik Essen-Möller 教授が逝去された。1992 年 11 月 12 日、91 歳の高齢であった。Erik, Eiji と呼んで最近まで親しく交流していただけに、哀惜の念は殊更である。遺伝精神医学に関心を持つものは誰一人として知らぬ者はない高名な学者であった。業績の数は決して多くはなかったが、一つ一つは時代を超えて、珠玉のような輝きを今に伝えている。

Erik Essen-Möller は 1901 年 2 月 4 日、産婦人科医の Elis を父として生まれた。Lund 大学に進学して量的遺伝学を学び、1926 年には遺伝学と統計学で B.A. の学位を授与された。Lund 大学医学部の卒業は 1931 年であるが、在学中に早くも双生児の卵性診断に関する論文を書いたという。これは父 Elis を記念する論文集に掲載されたもので、教授の長年に亘る双生児研究の出発点に、産婦人科医であった父の影響があったことは見逃せない。1941 年には遺伝学の雑誌 *Hereditas* に確率論に基づいた双生児卵性診断法を報告したが、この方法は後に Essen-Möller の方法と呼ばれ、双生児卵性診断法と親子鑑定の基礎となっているものである。後年われわれの会話のなかで、自分は“ただ理論的に”卵性診断法を研究しただけだ、と謙遜して言われたことを忘れることはできない。

1931 年から、Rockefeller の fellow として、München の Rüdin のもとで 2 年間、遺伝精神医学を研究した。この Rüdin という人は、後にナチに協力するという、学問の歴史に拭い去ることのできない汚点を残した人であるが、Essen-Möller 教授は、このような時代の流れには与せず、一貫してヒューマンイズムの立場を譲ることはなかった。この München 時代に行われた精神障害者の生殖力に関する研究は、現在でも重要な文献としてしばしば引用される古典的研究である。

Essen-Möller 教授の研究のなかで、とくに高い評価を受けているものは、1941 年に刊行された精神障害の双生児研究である。この研究は、多数の人々の努力にもかかわらず、いまだに本態不明の精神分裂病の病因に遺伝子型が強く関与していることを明確に示したものである。なお、この双生児は 30 年後に、Essen-Möller 教授自身によって follow up されている。

Sweden に帰国してからは、Lund 大学の遺伝医学と精神医学の助教授を経て、1943 年から 44 年まで、Stockholm の Karolinska 大学の精神医学の教授、次いで、定年退職した Sjöbring 教授の後を継ぎ Lund 大学の精神医学教授となった。1947 年からは、3 人の共同研究者とともに、南 Sweden の二つの町の住民約 2,500 人の census を進めた。これは住民全員と面接し、一定の format に従って精神障害と正常性格を分析するという、極めて骨の折れる遺伝疫学的研究である。この集団はその 10 年後と 25 年後に、後継者によ

って follow up されているが, Essen-Möller 教授自身も, 後日この集団構成員の血縁関係について詳細な研究を報告されている. この三つの研究成果はいずれも **monograph** として刊行されている.

日本遺伝学会主催の遺伝学シンポジアに出席のため来日されたのは 1956 年である. この時は本学会主催の「双生児研究と人類集団遺伝学のシンポジウム」にも参加され, 「精神医学への双生児研究の応用」の講演をされている (*Jpn J Human Genet*, Vol. 2, Suppl). 筆者との交流はこの時以来であった.

1967 年 Lund 大学を定年退職された. 翌 1968 年, 本学会の名誉会員に推薦された. 退職後も活発な活動を続けられ, 1985 年には, 精神医学における遺伝疫学分野の業績によって *American Psychopathological Association* から **Paul Hoch Medal** を受けるという栄誉を授けられた. 最後の論文は 1986 年, 85 歳の時であった.

Erik Essen-Möller 教授は, Sweden の森のように静かな人柄で, 派手な外面は好まれなかった. 一面, Sweden 人特有の温かな心を持ち, 多くの人々に敬愛されて止まない人であった. その逝去によって, 一時代を代表する人をまた一人失った. 心から哀悼の言葉を捧げたい.



90 歳の Essen-Möller 教授の署名